僕が出会った詩人たち#10「ともちゃん９さい」　　馬野ミキ

詩の朗読のバックトラックを入れて
そういうＣＤでのインディーズでのデビューが決まってた

もともと音楽をやっている身としては、個人的には、詩のよさは余白の沈黙にあると思うので
朗読に音楽を合わせる手法は好きではない

ＣＤがタワレコやディスクユニオンに並ぶという事に合わせて、死んでしまうということについて
不可思議/wonderboy君も被る
「本当のことでいる」ということと、それが商業的にどうにかなったり
増えていくだろう人間関係やしがらみのなかで、子供のままでいることと、大人になっていくということのなかで
むつかしい事は増える

ともちゃん９さいが亡くなったということを京都にいるspan！君から電話で聞いて
たぶん自分は現場に一番に辿り着いたかと思う
そこに行っても、居ないことはわかっているのだが　何故か早く行かなくてはならない気がした

マンションの高いところから落ちた

最寄の交番で巡査と話をする
住民から苦情などがくるので花を供えたりしないで下さいと言われた
その条件を飲んでというか花とかどうでもいいけど、ともちゃんが最後に生きていた空中を教えてもらった

空中の下のつまり地面、そのコンクリートにまだ薄く血の跡が残っていた
僅か数時間前にここで何が起きたのか　せかいは　無いものにしているようにみえた
暫くそこに佇んで
あそこから落ちてきたのかあ　高ぇよとか
そのずっと彼方の空を見たり
煙草を吸ったり
何もしないでいたりした
悲しむとか
驚くというよりは
ただガードレールにもたれてぼっーとした

「僕が出会った詩人たち」＃６で書いた　もり君と、ともちゃん三人で一度京阪神ライブツアーを行ったことがある

大阪では河野宏子さんにお世話になり平居さんにも出演頂いた
名古屋では鈴木陽一レモン君に仕切って貰い、夜は自縛ポエトリーういちゃん宅に泊まった
自分ともりくんと、ともちゃんとういちゃんの四人で打ち上げで名物のから揚げを食べたな
塩辛くて旨かった
ライブの遠征で地元の旨いものを食うのは最高なことだが
ともちゃん９さいがマンションの高いところから落ちた一年後、
ういちゃんもいなくなった

ともちゃん９さいはまあ９さいではないのだが
ともちゃんがspan！君と付き合う以前、
無力無善寺で行われた朗読会の後、自転車の後ろにともちゃん9さいを乗せて
ニケツで家まで送るようなことはあの頃よくあった
一度そのまま、ともちゃんの部屋で寝たことがある
明方、
「ほんとにミキさんって何もしないんですね　ミキさんの詩って本当なんですねw」
と言われたことをたまに思い出す
そしてその言葉を多少誇りに思う

ともちゃんのツイッターの連投がひどいのでミュートしたりフォローを外したことがあった
「私のこと、切ったんですね」
と言われたことがあったが、ＳＮＳの繋がりよりもっと強いものを分かってほしかったけど
そのことは上手く伝えられなかった

区の火葬場でともちゃんを見送った
唯一の肉親であるお母さんは、もう長いこと精神科の病棟で暮らしてるらしかった

月に一度、わたしも病院に行く時
阿佐ヶ谷からバスで
ともちゃん９さいが
高いところから落ちたとこと、その火葬場の近くを通る。

ともちゃん９さい/Youtube
https://www.youtube.com/@user-sh7vc7mn8o

不可思議wonderboy/wikipedia
https://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%B8%8D%E5%8F%AF%E6%80%9D%E8%AD%B0/wonderboy

span！/抒情詩の惑星
https://poetry2021.webnode.jp/span/

もり/きをみてもりをみて
http://blog.livedoor.jp/mori3u/

河野宏子/詩あん堂
https://poe284699.owndshop.com/

鈴木陽一レモン/ツイッター
https://twitter.com/lemon_poet

自縛ポエトリーうい
https://jibakyui-pro.amebaownd.com/

無力無善寺
https://muzenji.web.fc2.com/